竹原市複合施設整備基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの概要

募集期間	2025年（令和7年）5月19日（月）～6月17日（火）
閲覧場所	竹原市庁舎、忠海支所、各地域交流センター、市HP
意見提出方法	各閲覧場所へ持参、ファックス、電子メール、郵送
意見提出先	竹原市企画政策課公共施設再整備担当

2 意見募集の結果

意見提出者数 14 人、意見数 47 件

NO.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え
1	市民意向・施設運営体制	市民意向で挙げられた公園や飲食店について、人手不足等のため市での管理が難しいと思われる。竹原で現在いいなと思うサービス・活動として、 ①充実した福祉バス ②安田歯科医院近くの花壇 ③藤三竹原店裏のバスケ練習場「練習サイズ」が竹原には良いのかもしれない。	市の各種施策の推進に当たっては、市民の皆様のご意見をいただきながら、事業効果等を踏まえて取り組んでいきます。
2	市民意向・市民ホールの利用イメージ・愛着	竹原中学校では全校生徒で観劇・音楽観賞、創作ダンス大会等を、大人になってからは成人式など竹原市民館で行っていた。そのようないつまでも「思い出に残る場所」にしたい。東広島芸術ホールくらのようなホールが、小さくてもできれば良い。名称は「竹原市民館たまゆら」	複合施設が市民の居場所になりかつ誇りに思い、楽しく幸せに暮らせるまちとなることを目指しています。施設名称については、公募を行うことを検討しています。
3	デザイン	アニメ『たまゆら』は高齢者にも認知されているので、『たまゆら』のイラストを外観等に使うのはいかがか。竹原市はフォトスポット(きれいな自然・古くからの趣きある建物等)が多く、周囲と見た目も合う、撮ってみたいと思われる施設が良い。	本施設は、市の新たな顔となる拠点施設にふさわしい「品格（品質）」と竹原市の歴史や文化、周辺環境との調和を踏まえつつ、優れた「意匠」を備えた施設を目指します。

4	導入機能	時間をゆっくりくつろげる公園のような空間もあれば良い。	屋内外を問わず心地よい空間とすることを目指し、施設や設備の配置を検討します。
5	整備事例の紹介	岩手県北上市の『文化交流センターさくらホール』や秋田県鹿角市の『文化の杜交流館コモッセ』のような感じが良いと思う。	様々な複合施設の整備事例を参考にし、竹原市の複合施設に活かしていきます。
6	敷地利用	現況の高低差を建物で吸収とバリアフリー化の両立は実現不能ではないか。建設費の削減項目ではない。	多様なニーズを踏まえて、バリアフリーに対応した施設とします。
7	こども・子育て支援機能	複合施設内に子どもが安心して遊ぶことができる空間、親と子どもと一緒に楽しめる空間を整備すると、市民の日常的な居場所になると思う。	こども・子育て支援機能のプレイルームには、乳幼児から小学生にとって、特徴ある魅力的な屋内・屋外の遊び場や空間を設け、親子でも子どもだけでも楽しめるようにします。その他の機能においても、子どもが生き生き・のびのびと遊べる交流空間づくりに取り組みます。
8	こども・子育て支援機能の運営・利用イメージ	子育て世代が交流する場とありますが、平日の日中は親は仕事、子どもは保育園等なので、休日の利用を考えているのか。その場合、職員がいるのは休日のみなのか。	乳幼児などの一時預かりも想定しているため、平日も職員が常駐します。
9	こども・子育て支援機能の運営・利用イメージ	乳幼児からのプレイルームや一時預かりでは、担当者がいて子育て中のママ達が一息つける場所となるのか。平日の昼間の利用者は高齢者ばかりで、子供の利用は土日と夕方に限られる。	乳幼児などの一時預かり業務や子どもの見守りスペース整備など、子育て世帯の育児負担軽減につながる施設とします。
10	交通手段	「楽しいところに人が集う」というコンセプトについて、特に高齢者の居場所づくりにとても良いので、複合施設へ行くまでの交通手段の充実をお願いする。	「竹原市地域公共交通計画」（令和7年3月策定）を踏まえて、中心市街地へのアクセスについて市民ニーズを踏まえた、新たな交通モードについて検討します。
11	会議室	フレイル対策としてサロン活動に利用したい。例えば一定人数集まればリクエスト映画が鑑賞できるとか。	フレイル対策など高齢者にとっても利用しやすい施設とします。

12	調理室・食堂	市民活動支援機能のうち、調理室や食堂は各地域の廃校や廃校予定の建物の利用の方が理想的と思う。	調理室や食事室はこども・子育て支援機能など、他機能との親和性が高いため、本施設内にも整備することとしています。
13	情報発信	他県からの市内観光や修学旅行生が一度に収容可能なホールも必要で、映像で市の歴史や特徴が紹介できる設備構想が必要と思う。	市民ホールの映像の投影設備と市のPR動画などの映像コンテンツと連携など、施設の運営事業者と連携しながら市の情報発信に取り組みます。
14	市民ホールの座席数	プロアーティストのコンサートが可能な600席は確保してほしい。市内に約300人収容の民間施設があり、新施設との相互関係を考慮する必要がある。	市民ホール座席数は本市の人口規模、市民の利用実態・利用頻度などを踏まえて、400席程度とし、多目的な利用に対応できるように可動席としております。
15	市民ホールの座席数	最低でも500席以上を要望する。過去に700人程の観客が入った音楽イベントもあった。席が少ないとプロの演奏家を呼べない。ホールとは別に、100～200席程度の小ホールの併設を要望する。少人数グループや個人が気軽にコンサート・リサイタル等の表現活動を行うことができる音響などの整った小ホールを設けることが望まれる。	市民ホール座席数は本市の人口規模、市民の利用実態・利用頻度などを踏まえて、400席程度とし、多目的な利用に対応できるように可動席としております。一方で、音楽イベントなどの利用も踏まえた、一定の音響性能に対応した施設を整備することとしております。
16	市民ホールの設備	音響・照明設備を十分に整え、利用満足感のあるホール環境を整えて貰いたい	音楽イベントなどの利用も踏まえた、一定の音響・照明性能に対応した施設を整備することとしております。
17	市民ホールの設備	市民ホールは多目的とあるので、音響等が良いホールにはならないということでしょうか。小さくても音響が良ければ、有名なミュージシャン等が来てくれるのではと期待していましたが。	

18	市民ホール の設備・ 座席数	<p>座席数が400席となると本市への演奏家の招致が難しいのに加え、400人以上の入場者があったコンサート、講演会がある中、500席は必要と考える。</p> <p>又、避難所として活用するとのことであれば、反響板、照明・マイクなど「響き」を考えて、対応してほしい。</p>	
19	市民ホール の設備・ 座席数	<p>近隣市町同様、プロの演奏家のコンサートが出来る音楽機能や規模のホールの設置を希望する。</p> <p>誰もが、文化・芸術にふれあうことのできる文化を掲げる市の取るべき姿だと思う。</p>	<p>市民ホール座席数は本市の人口規模、市民の利用実態・利用頻度などを踏まえて、400席程度とし、多目的な利用に対応できるように可動席としております。</p>
20	市民ホール の設備	<p>プロのオーケストラ・ミュージシャンのコンサートが開催できる音楽機能・規模を有するホールを設置してほしい。音楽ホールがなくなると、プロの音楽を生で聴ける機会が喪われるとともに、音楽団体でのコンサート・音楽イベントの開催が難しくなる。</p>	<p>一方で、音楽イベントなどの利用も踏まえた、一定の音響性能に対応した施設を整備することとしております。</p>
21	市民ホール の設備	<p>適切な音の響きが確保されるようなホールの設計、天井・側面・正面を囲む一体型の電動式反響板など最良の音響装置の設置を要望する。また、照明、マイク、録音などのホールに付属する装置も、様々なニーズに対応できる最新式の設置をお願いする。</p> <p>なお、可動席のホールは音響面で劣るため、固定席とされるように要望する。</p>	

22	市民ホール の諸室の設 備	リハーサル室はホールの舞台と同 等の広さを確保し、ピアノを常設 し、楽屋とともにホール付近に設 置してほしい。 現在のピアノは置きっぱなしの状 態であるが、空調の整ったピアノ 庫の設置を希望する。	リハーサル室、音楽室、ピアノ 庫について、適切な規模及び設 備を確保します。
23	市民ホール の諸室の設 備	ホール舞台と同じ程度の広さを有 し、音響の整ったリハーサル室を 設けてほしい。リハーサル室には ピアノを常に置き、正面の壁は鏡 張りにし、常時は音楽サークルや バレエ等の練習場としても利用で きるようにして頂きたい。 また、ホールの近くに楽屋を必要 数設けて、各部屋には姿見用の鏡 とロッカーを設置して頂きたい。	リハーサル室、音楽室、ピアノ 庫について、適切な規模及び設 備を確保するとともに、各諸室 の配置については、利用者の意 見等を踏まえて検討していきま す。
24	市民ホール の諸室の設 備	音楽活動に使用する諸室につい て、音響を十分に確保するととも に、防音・遮音にも配慮を願う。	音楽イベントなどの利用も踏ま えた、一定の音響性能に対応し た施設を整備することとしてお ります。
25	市民ホール の諸室の設 備・ピアノ	新ホールに相応しい新しい立派な ピアノ及び保管庫を設置してほし い。クラウド・ファンディングの 活用も検討に値する。	リハーサル室、音楽室、ピアノ 庫について、適切な規模及び設 備を確保します。
26	共用部・ 広場	多くの市民が集う「憩いの場」と なるよう、ロビー・ホワイエ等を ミニ・コンサート、広場を屋外コ ンサートなどに利用できるように してほしい。	ロビー空間は市民が集う要の空 間、広場は市民イベント等が実 施できる場所を想定しているた め、今後の整備については、利 用者の意見を踏まえ検討してい きます。
27	ロビーの機 能	他市町同様、ロビーやホワイエで のコンサートや、展示やパーティ ーのような集会が出来るように考 えてほしい。 市民が集い、憩いの場としての場 所があれば、交流人口の増にも繋 がると考える。	

28	広場	<p>旧市役所周辺はとても暗く、人通りが少なくなり、中心部でありながら非常に寂しい状況のため、複合施設の広場整備は非常に重要である。</p> <p>キッチンカーや飲食・物販などが出店して、にぎわっている雰囲気まちなかには必要なため、キッチンカー用の電源設備や水道設備は必須である。</p> <p>広場利用時に雨天に対応する機能として、一部のエリアに雨除けシートを張れる工夫があると、イベントを実施する側としてありがたい。</p>	<p>電源及び水道設備、雨天の対応などについて、利用者のご意見を踏まえ必要な設備を検討していきます。</p>
29	広場	<p>芝生や木を植え、木陰が出来るいこいの広場がほしい。</p>	<p>広場内にベンチや植栽を設置し、居心地の良さを感じることができるよう整備します。</p>
30	民間機能の誘導	<p>おしゃれな飲食チェーン店が入るといい。</p>	<p>民間機能について、市民ニーズを踏まえ、公共機能と親和性の高い施設を誘致していきます、</p>
31	(仮)複合施設サポーターズクラブ	<p>市が主導して、地域の音楽・芸術活動の拠点となるよう運営してほしい。また、参加する市民団体等については、市が指定するのではなく、幅広く募集してほしい。運営をサポートする代償に、例えばサポート内容に応じて施設利用料を割り引くなど、何か見返りがあれば、協力する団体も増えるのでは。</p>	<p>音楽・芸術活動について、運営事業者が主催するものを検討します。</p> <p>また、施設運営者・市・市民が連携できる体制を構築するとともに、市民の皆様にも積極的に開催していただけるような施設及び料金体系を検討します。</p>
32	市民ホールの利用	<p>東広島市の「くらら」や三原市の「ポポロ」のようにコンサート・演劇を開催して欲しい。</p>	<p>音楽・芸術活動について、運営事業者が主催するものを検討するとともに、市民の皆様にも積極的に開催していただけるような体制を検討します。</p>

33	全市民を対象とした音楽イベントの開催	市内の音楽に携わる人たちが一堂に集まり、音楽の力で竹原市を活性化できるようなイベントの開催をお願いする。	音楽・芸術活動について、運営事業者が主催するものを検討するとともに、市民の皆様にも積極的に開催していただけるような体制を検討します。
34	開館時間・利用料金	市民が利用し易い料金、使用時間区分の設定（半日単位ではなく時間単位）などを行うほか、現状では市民の利用ニーズの高い土日の使い勝手が休館日等により悪いため、利用者の意見もよく踏まえて、音楽ホールの運営について検討して頂きたいと思います。	
35	開館時間・料金体系	現在の市民館の営業時間は、午前・午後・夜と分かれて利用しているが、時間単位での使用可能にしてほしい。また、第3日曜が休館であることを含め、利用者のニーズを反映させた時間設定をしてほしい。料金についても、利用しやすい金額に設定してほしい。	複合施設の開館日及び開館時間は、各機能の利用実態や市民ニーズを踏まえて、適切に設定していきます。また、利用料金についても、既存施設の利用料金を踏まえながら、市民の皆様が利用しやすい料金設定を検討していきます。
36	開館日・開館時間	現在の図書館は月曜日が休館日のため、子ども達の振替休日に対応していない。また、市民館も第3日曜日が休館日のため利用しにくい。新しい複合施設の休館日や開館時間は、できるだけ市民のニーズに対応した時間としてほしい。	
37	概算事業費	整備費約61億円は高すぎる上、今後の物価上昇でより高額になる。市の実質的な負担額は1/3とあるが、国からの交付金も日本国民の血税である。	公共積算ベースで整備費を約61億円としておりますが、性能発注・一括発注・長期契約などにより、質の高いサービス提供とコスト縮減を図ります。

38	官民連携手法	官民連携手法の採用によるサービス向上、効率化等が期待されているが、あくまでも公共施設であるので、市民の利便性を第一とし、公共的な運営がなされるよう、市の管理・指導をお願いします。	市民に質の高いサービスを提供するため、民間事業者と行政が連携して、施設を運営していきたいと考えています。
39	事業手法	民間事業者による運営を取り入れ、サービス向上、ホールの有効活用が出来るように、一番は、利便性を重視した公共的な運営をお願いしたい。	
40	新ホールができるまでの代替会場	現市民館ホールが使用中止となり、新ホールの供用開始までの代替会場等について早期に明らかにしてほしい。	市民ホール等の公共施設の代替機能の確保及び利用者の支援方法などについて、現在検討しております。
41	事業実施	人口が減少していくからこそ、一刻も早く複合施設を整備して、子どもから高齢者までが、目的もなく集える場所を作り、地域のつながりや新しい交流が生まれることが重要である。	機能の複合化を図ることで、施設に訪れた様々な目的の、かつ様々な属性の人々の活動が混ざり合い、新たな交流や発見に出会い、新しい価値を生み出す「セッション」にあふれた施設を目指していきます。
42	事業実施	「生まれてよかった、住んでよかった、帰ってきたい、住んでみたい」という目的の政策自体は賛成する。しかし、財政が厳しい状況で既存施設の解体及び複合施設建設ということには反対する。竹原市の人口が減っていく中で投資額に見合った回収ができるとは思えない。	竹原市の公共施設は老朽化や狭小化、分散化が進んでおり、更新が必要な状態になっています。更新にあたり将来の人口減少等を見据え、共用部を兼用できる複合施設とすることで、延床面積を大きく縮減し、規模は小さいものの、質の高い複合施設整備に取り組んでおります。

43	計画策定の目的	<p>市民が「生まれてよかった、住んでよかった、帰ってきたい、住んでみたい」という目的のためには、市民の日常的な居場所は重要だと考える。特に、小学生や中高生などは、図書館もスペースが狭く、友達と一緒に過ごす場所がない。子ども達の数も減少しているが、将来のことを考えると子どもたちの居場所づくりは重要だと思うので、早急な整備を願う。</p>	<p>こどもの居場所づくりは、市民が幸せに暮らせる『まち』との認識を向上させるために不可欠であると考えております。複合施設においても、こども・子育て支援機能、図書館機能等、多様なニーズを踏まえてこどもの居場所づくりに取り組みます。</p>
44	中心市街地の目指す姿	<p>複合施設だけに人が集まるのではなく、竹原駅前や町並み保存地区などへも人が回遊して、町全体が活性化することが重要。今回の複合施設整備をきっかけに、市民がまちなかを回遊して、中心市街地が活性化する取り組みを検討してほしい。</p>	<p>令和7年3月に「竹原中心市街地地区まちづくりビジョン」を策定し、歩きたくなるまちづくり等による中心市街地地区の回遊性向上に取り組みます。また、複合施設の運営事業者と各地域のステークホルダー、行政等が連携したまちづくりを進め、中心市街地の活性化に取り組みます。</p>
45	市政全体	<p>複合施設の事しか考えていないのか。老朽化は今始まった事ではなく、以前から考えないといけなかった事では。</p>	<p>平成30年災害などの影響により、庁舎移転等の事業が遅れたことを踏まえ、複合施設の早急な整備に取り組んでおります。</p>
46	旧大型商業施設の買収	<p>なぜ旧管財人が賄えなかった旧大型商業施設の解体費用を市が負担する必要があるのか。せめて更地にした状態で寄付を受けるべきではないか。今後不要な土地や建物があれば、市で寄付や買収してもらえということか。</p>	<p>複合施設整備において、旧大型商業施設の敷地を活用することで駐車場や広場など、ゆとりある空間で計画することが可能となるとともに、新たな民間機能誘導により、複合施設と相乗効果が発揮され、エリア全体としての利便性を高めることができます。不要な土地や建物の寄附や買収については、公共事業としての必要性や事業効果を踏まえて判断していくものと考えております。</p>

47	ターゲットの想定	<p>複合施設を新たに建設するよりも、竹原市に重要な世代である20-30代女性や子育て世代に的を絞った政策を行った方がU・Iターンなどの移住に結び付きやすい。また、施設の波及効果として若者がこのまちに住みたい、戻りたいというのは、話が飛躍している。</p> <p>ターゲットとして全世代を対象にしているが、実際利用するのは、時間に余裕がある近所のシニア世代だけでは、竹原市内の中学・高校で熱心に勉強する学生の人数は限られる。</p> <p>現役世代向けのワーキングスペースについて、商工会議所の1階にすでにあるので十分では。ワーキングスペースを設けるなら、それに伴い企業誘致に積極的になり雇用を生み出してほしい。それぞれのターゲットをもう少し落とし込んで考えてみると、実際に利用できる人は少ないのでは。</p>	<p>既存の定住・子育て支援政策に加え、複合施設が持つこども・子育て支援機能等を通じて、幸せに暮らせるまちという認識を高め、若者がこのまちに住みたい、戻りたいと感じてもらうことが重要であると考えております。</p> <p>竹原市の未来を担う中高生の学習環境を整備することは重要であると考え、適切な席数の学習スペースを整備します。</p> <p>ワーキングスペース専用の空間を設けるのではなく、ロビーをワーキングスペース等の多様な活動ができる場として整備します。</p>
----	----------	---	--